



GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第130号 2017年10月発行

巻 頭 言

生活を観る作業療法 ～みんなでQOLを考えよう～

□□□□□□□□□□□□
□□□□

第20回群馬県作業療法学会は、平成29年12月3日(日)、太田医療技術専門学校において開催することとなりました。

日本作業療法協会では、作業療法士は生活を観られる職種であることを、対象者・家族・多職種にわかりやすく提示するツールとして、生活行為向上マネジメントを作成し推進しています。私たち作業療法士は対象者の生活を評価し、その人らしい生活を送るために必要な生活行為を向上させることができる職種です。そのことは、ここ数年の全国学会や県学会でも言われており、皆様も再認識をしていると思います。

しかし、個人によって多種多様な生活をどのように評価し、どのように作業療法として介入していくか、という事については、十分な考え方・理論に基づき実践できているとはいいがたく、臨床の中で経験を積みながら、試行錯誤して行っているのが現状だと思われます。皆さんも、困難に直面し、自分らしい生き方を考えられない・思い描けないで過ごしている対象者と向き合い、「その人らしい生活」とは何か？を迷い、悩みながら、日々よりよい作業療法を模索しているのではないかと思います。

個人の多種多様な生活に対応し、「その人らしい生活」を実現させていくには、考え方や理論を学ぶと同時に、臨床での実践・経験を共有していくことも重要だと感じています。そのような思いのもと、今学会のテーマを「生活を観る作業療法 ～みんなでQOLを考えよう～」といたしました。

参加した作業療法士の方々が、知識を学ぶだけでなく、実践で得た生きた情報・意見を交換し合える場を提供できるように、基調講演・各領域のシンポジウムを企画しました。また、より活発な意見交換の場にして欲しいという想いで、今学会は、演題発表はすべてポスター発表としました。

会員の皆様には、本学会に足を運んで頂き、「生活を観る作業療法」について、今一度振り返り、向き合う場となるとともに、みんなで「参加」して、活発な情報・意見交換や交流の場として盛り上げていただきたいと思います。皆様のご参加を学会実行委員一同心よりお待ち申し上げます。

「新人症例発表会2018」のお知らせ

群馬県作業療法士会では、
来年度も新人症例発表会(事例報告会)を
下記のように開催致します。
皆様の参加を心よりお待ちしております。

【日時】平成30年4月22日(日)

9:30~15:30(予定)

【場所】高崎市総合福祉センター(予定)

【発表希望者の登録】

平成29年11月29日(水)〆切

※詳細については、県士会ホームページにてご確認ください。



第20回群馬県作業療法学会 ポスター作成支援

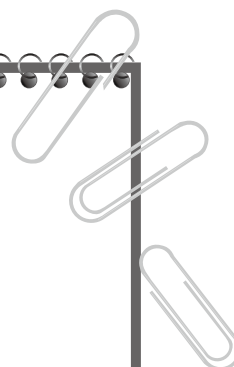
学術研究グループで学会ポスター作成支援を行います。

以下に当てはまる方はぜひ連絡してください

- ◎ポスターを作成するのは初めての方
- ◎見やすいポスターを作りたい方
- ◎方法、結果、考察の表記の仕方がわからない方

締め切り:2017年11月5日(月)

問い合わせ先 n-reha@fujiooka-hosp.or.jp
公立藤岡総合病院 近藤健



一般社団法人群馬県作業療法士会 第1回理事会議事録

会 場：群馬医療福祉大学

日 時：平成29年7月19日(水) 19:00～21:50

出席者：理事 新井、関根、山口、市川、勝野、高坂、品田、柴田、高橋、都丸、長谷川、李、監事 唐澤

I. 会長から

1. 新年度体制(担当理事の配置等)について

会長案通り。全会一致で 承認

「運転と作業療法」「養成校連絡協議会」「精神科領域推進」の特命担当理事を任命し 業務の遂行並びに組織化などについて検討していくこととした。

2. 理事会の機能の確認について

理事会の機能と理事の職務の再確認し、会議のスマート化（(理事間のwebを活用した事前検討、部局内での十分な事前検討、会議時間の減)を図っていくこととした。近年の県士会事業の大幅増に対応するため、そして、社会情勢の変化や要求に対しタイムラグのない活動を推進していくために理事会開催回数を2か月に1回に増やすこととした。

1) 法人の業務遂行の決定

理事会は法人における最終(最高)決定機関であることを認識した議事を遂行する。

2) 理事の職務執行の監督

担当理事は、所管部署の企画、計画、遂行について管理監督を行い、進捗状況等を必ず理事会にて報告することとし、理事会は、担当理事の職務執行並びに所管部署の業務の内容及び遂行状況について監督をする。理事会に上程する案件については、局長(担当副会長)を含めて検討した上で挙げることとする。

3) 平成30年度以降体制について(提案)

新井会長から平成30年度以降の士会組織体制について主に以下のことを変更点とする提案があった。

①保険部の解消

②地域作業療法推進局の設置

③公益事業部の設置

④局体制を4局体制へ変更するにあたっての副会長職の4名体制化 等

* 後日、会長より文書にて詳細提案される「平成30年度以降組織体制案」について今後理事会の場で十分に審議の上、本年中に決定をしていくこととなった。

3. 47委員会報告

日本作業療法士協会47都道府県委員会(第2回)が7月1日・2日に都内で開催され、2日間で13の議題について報告及び議事を行った(以下議題のみ)。

1) 平成30年度同時改定における要望書について

2) 特別支援教育等に関わる都道府県士会担当者との連携について

3) 生活行為工夫情報モデル事業について

4) 地域包括ケア推進委員会について(人材育成)

5) 災害対策について(災害発生を想定した訓練を士会レベルで行っていく件)

6) 認知症の人の生活支援推進委員会より(協会の役割・県

士の役割、アップデート研修について)

7) 生活行為向上マネジメント推進プロジェクト委員会報告(生活行為向上マネジメントの新たな推進体制について)

8) 作業療法推進モデル事業について(①OTを目指す人材の確保 ②組織強化の促進)

9) 47都道府県委員会平成30年度の取り組みについて

10) 運転と作業療法特設委員会より(「運転に関する作業療法の指針」⇒「運転に関する作業療法の基本的考え方」に名称変更)

11) 病院・施設・士会をつなぐ運転支援の実践について(四国運転支援リハプロジェクトの活動の紹介)

12) 平成29年度モデル事業報告

北海道士会(組織強化プロジェクト)、埼玉県士会(組織強化)

13) 平成28年度パイロット事業報告

群馬県士会(教育委員会との連携による作業療法士派遣と支援モデルの作成)

広島県士会(刑務所における高齢受刑者の就労支援に向けたプログラムの試作と作業療法士の要請)

大分県士会(小中学生を対象にした作業療法士の啓発・普及活動)

鹿児島県士会(自動車運転と作業療法士の介入について)

沖縄県士会(離島で働く作業療法士を支える研修システムの構築)

4. その他

1) 定年退職等で作業療法士の現職にない会員も出てきている。継続して入会していただく ためにも、これらの会員の処遇(功労会員?、会費の減免等)について今後検討していく。

2) 臨床実習施設及び指導者について見直しがなされる。

3) 未入会者の入会促進も大事だが新卒者にいかに入会していただくかをしっかりと対策を取ることが必要である。

4) 前橋刑務所がある当県においても高齢受刑者と作業療法の関わりについて検討をしていく。

5) 国の指定規則検討委員会にてOT有資格者数82000人(つまり、未入会3万人)という数字が初めて出された。当県における資格者数について県所管課などにデータを求めていきたい。

II. 各部からの議案について

1. 事務局(事務局長 長谷川)

1) 県士会webサイトの運営について【報告】

8月末から9月に事務局へ移行。現在、k-art-factory 渡邊氏と打ち合わせ日程検討中

2) 協会パイロット事業・パンフレットの案件について【報告】

事務的な作業工程について確認。現在、エイチレフからの請求書待ち。確認後、支払いへ

3) 名簿の作成及びメールアドレスの登録について【審議】

①審議結果：H30年度より、全施設のメールアドレスの掲載を必須とする方針で決議
レイアウト等の変更も検討する

4) 第2回部門代表者主任者会議について【確認・提案事項】

1) 開催日時:平成29年10月8日(日)9:30~受付

2) 開催場所:群馬大学医学部保健学科

会長:協会→県士会と各会員所属施設の部門代表者との意思の疎通性の向上を図っていくためにも開催回数を増やしていくことを検討してほしい。

担当理事が音頭を取ってブロックでの活動の仕組みを作っていくことが重要であるとの意見

山口副会長:中島室長へはご挨拶いただく方向で話まとめている

各理事から、情報提供したいことなどがあれば、事務局局長まで

5) 運転と作業療法に関する組織化について:提案通り確認し承認

2.学術部(担当理事 李)

学術部事業計画について、説明報告

1) 人事案

学術部長:牛込氏(群馬医療福祉大学)

機関誌編集グループ:新部長の意向を確認

学会支援グループ:野口氏(榛名荘病院)

学術研究グループ:近藤氏(公立藤岡総合病院)

2) 各グループ中長期目標について説明

1)、2)ともに承認

3.養成校連絡協議会(担当理事 李)

養成校連絡協議会事業計画について、説明報告

1) 事業計画について説明

2) 中長期計画について説明

会長:組織率の維持のためにも学生の段階から県士会との接点を作ることはとても重要

養成校以外における学生への教育や学術発表の場を得る機会ができることは養成教育的にも人材育成的にも意義が大きい。定款上、現在のところ定款には学生会員の位置づけはない。定款の変更が必要か?

1)、2)について承認

4.教育部(担当理事 柴田)

1) 教育部年間スケジュール報告⇒承認

2) 生涯教育受講登録システムに関するモデル士会への参加の有無について【審議】

柴田理事の提案

⇒当会の研修日程との兼ね合いと、モデル士会の説明会日程など勘案し今回は見る方向でどうか

【審議結果】全会一致で見送る方向で決議

5.地域連携推進部(地域包括ケア推進G/認知症支援

G)担当理事 高坂・山口副会長

1) 研修会日程・予定についての報告⇒承認

2) 行政からのOT 派遣要請 太田市からの地域支援事業に対する協力要請あり

⇒今後事務局、ブロック支部との連携し、地域単位での協力体制の構築を図っていく。

3) 県基金事業における人件費(謝礼)について【審議】

@¥1,000×(96+48時間)=¥144,000

山口副会長:事務局員加藤氏への時間外の支払いとしてできないか。

【審議結果】全会一致で承認

ただし、労務管理上の財務処理の問題等のテクニカルな要件については、事務局の方で確認し、山口副会長と連携として進めていく

まずは、町田財務部長と担当の中島労務士と確認作業を取る(8月中)

6.地域作業療法推進部 発達支援推進G(担当理事 勝野)

1) 特別支援教育専門家派遣事業【報告】

【審議結果】議事資料の通り。承認

2) 協会パイロット事業について

①進捗状況

学校、保健所等に対するOT啓蒙の為のリーフレット完成

②発行部数:100部を予定

③会計等の処理:未

④協会パイロット事業の期間

H28~H29年度をまたいでの事業

⑤本事業に関する理事からの意見

都丸理事:広報部としては、本パンフレットを配布する際には、パンフレット内容を理解しやすい方法について検討する必要があると思われる。

関根副会長:パンフレットともに、説明文書を挟み込む方法はどうか

山口副会長:パイロット事業の全体としての作業達成割合について質問

新井会長:パンフレットについてはまずは100部を限定として配布する形で

長谷川事務局長:今回の作業としての見積もりや料金の支払い等については明確にしておく必要がある。

次の作業に移る前にまずは、料金等の確認をしっかりと行うことを要請する

⑥理事会としての意見の集約

パンフレット案は、アイキャッチとして目立っている。

OTとしての説明になっているわけではないので、補足の説明等は必要。QRコードからのwebサイトはわかりやすい

鑑文の案を作成し、理事回覧して、採択決議をする。

事業目標と期間、事業の進捗と目標達成度(期限含む)を明確していく

進捗状況については適時、主幹・副理事を含め、担当理事が確認する

7. H29年度自殺対策事業について・補正予算の申請

(担当理事 勝野)

自殺予防 普及対策事業についての予算が抜けており、補正予算を申請

①審議結果:県からの補助金の割合について再確認が必要確認後、理事間でメール等で再協議する

②今後の作業

補助金についての割合等が確認できた段階で、事務局局長へ報告

事務局長から各理事へメールにて議案配信し決議を取る方向で

8. 福利厚生部(担当理事 市川・関根副会長)

1) 「リレーフォーライフぐんま」への参加を企画に関して【審議】

【審議結果】参加企画をして、会員の募集をかけることについては問題なし

参加人数に応じて、参加の可否を再度検討

参加した場合の、補正予算についても、再度検討
まずは、福利厚生部が参加者の募集等の取りまとめを行
っていただく。強制にならない配慮が必要

9. 広報部(担当理事 都丸)

1) 人事案について

部長、グループ長選任

- ・ 部長:土岐新太(榛名荘病院)
- ・ 公益事業グループ長:中澤浩幸(日高病院)
- ・ ニュース編集グループ長:反町拓海(西毛病院)
- ・ ホームページ管理グループ長:黒澤匠太(公立藤岡総合病院)
- ・ 広報企画グループ長:金子圭佑(イムス太田中央総合病院)⇒上記人事案問題なし。承認

2) 活動計画【報告】

①公益事業グループ

高校生一日体験:7月下旬から開始。
健康フェスタin まえばし:H29.10.29(日)参加申し込み済。
親子で取り組める作業。活動を通して作業療法の啓発活動
を予定。
OT フェスタ参加:H29 年度も参加予定で調整中。(ショ
ッピングモールを検討)
こころのふれあいバザー展:精神科分野を中心に参加
申し込み済み。

②ニュース編集グループ

今年度のニュース内容、レイアウトを改変中。(写真を多
く使用、カラー印刷等検討中)

①.②について承認

③都丸理事より

各グループ等で活動している写真等はストックしておい
てほしい。ニュース等で掲載できるように勧めていく

理事からのコメントを掲載するので、その際は依頼をする

10. 生活行為向上マネジメント補正予算について

今年度予算申請:研修会冊子印刷(40,000円-100冊)パンフレット(30,000円)

・ 今回、研修会冊子にて、事例登録の項目が増え、ページ数
が大幅アップに伴い、冊子印刷代の増額が必要となった

・ 100,000円-200冊での発注

補正予算額:60,000円【審議結果】全会一致で承認

11. 倫理問題検討委員会の委員長人事について(新井会長)

人選案:外里富佐江氏 群馬大学医学部保健学科

①審議結果

* 当人の希望により、任期は1年(平成30年定時総会終
了時まで)とする

上記について承認

III. その他連絡事項

事務局より:委嘱状の送付作業を行います。各部の名簿
の送付をお願いします。

IV. 次回理事会

9月20日(水)18:30~集合 19:00~開始

場所:群馬医療福祉大学

一般社団法人群馬県作業療法士会 第2回理事会議事録

会 場:群馬医療福祉大学

日 時:平成29年9月20日(水)19:00~21:50

出席者:理事 新井、関根、山口、市川、勝野、高坂、品田、柴
田、高橋、都丸、李、長谷川。 監事 唐澤、小林

I. 会長から

1. 平成30年度以降の県士会運営体制について

- 1) 既に提案済の体制案を基に、第3回理事会にて検討し
決めていく。
- 2) 上記を経て、第4回理事会にて来年度各部事業計画及
び予算案について審議する。

2. 事務局の機能に関する事項

- 1) 調査部の創設の可否について、第3回理事会にてその
要否について検討する。
- 2) 事務局としては、平成30年度以降の運営に向けて庶務
を扱う部署の創設ないし機能強化などして、本来的な事
務局の充実を図ってほしい。
- 3) 各種団体等からの広告依頼の処理について
HP等への広告依頼については、原則として事務局長が
その適否を判断し、適否の判断がつかない場合は三役
及び理事会で判断をする。

4) 保険部の処遇⇒保険部の項 参照

3. 地域作業療法推進局(仮)の設置

- 1) 地域作業療法推進部の活動が、部としての活動を超える大
きな組織活動となっていることに加え、今後さらにその活動
は拡大し、会の中心的活動となっていくことが想定される。
そして、それを内外へ向けても会の意志として発信をしてい
くことが望まれる。そのため、地域作業療法推進部を部から
局へと昇格させ、現行のグループを部に昇格させることで、
規模、質とも活動をさらに発展させていきたいと考える。
- 2) 県士会の局体制を、平成30年度以降の運営にて、現在の
1)事務局2)事業局3)学術局の3局から地域作業療法推
進局を加えての4局体制にし、局長も4名配置してその運
営強化を図りたい。そのため、現行の副会長2名・事務局
長1名体制から、副会長3名+事務局長1名の体制にした
い。これには、定款や選挙規定の変更が必要となるので
合わせて検討をしていきたい。上記の2案件は本年度中
に審議し、する・しないを含めて方向性を決定したい。

4. 委員会活動に関して

- 1) 災害対応委員会の常設委員会へのシフトに関して
JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協
議会)の活動及び協会の災害対応活動への参加も含
め、活動が活発化していること、風水害も含めた災害の

多発とそれに対する公的団体としての活動が求められていることなどから、特設委員会から常設委員会へシフトをして、組織建ても強化していきたいと考える。本年度中に審議決定する。

- 2) 運転と作業療法に関するWGの委員会化
OT協会の動きを見て、県士会での組織化(常設委員会化)の検討を行う。本年度中に審議
5. 触法障害者や高齢者などの受刑者に対する作業療法について、県士会の対応の検討
- 1) 当県としては前橋刑務所があり、受刑者が高齢化しているデータもある。他県でも実績が出てきている。当会としても高齢受刑者等と作業療法の関わりについて検討をしていく。
- 2) 担当部署等の具体案は、今後審議する

II. 各部からの報告事項

1. 事務局から(長谷川事務局長)

- 1) HP運営に関して
- ① 9月3日にてHPは事務局へ完全移行した
- ② 今後のHP掲載については事務局長へメールにてデータを添付する
- ③ 各部のページを用意。それぞれ該当部の理事が記事を作成する
- ④ OTブログ、保険部ブログは閉鎖の方向で。
* 以上4点を確認。承認。
- 2) 県士会員について
- ① 現在会員847名、日本作業療法士協会会員で県士会の非会員が55名ほどいる
- ② 55名については、事務局で対応し、入会手続きを進めていく
- ③ 協会退会者について、県士会費が納入されているケースについては、全例返金扱いとする
- 3) 会員システムの導入に関して
新規、会員システム導入の是非について提案審議。
会長より:事務員がデータの単純入力作業等にその業務の多くを費やしている状況は適切とはいえない。本来的に果たすべき、会員サービスの質の向上や事務局の適時適切な運営にも支障が出ることもつながる。システムの不備を人手(人件費)で賄うことよりも、適切なシステムを導入することで業務を効率化・安定化し、改善できるのであればその方が望ましい(データ管理上のリスク管理にもなる)。第3回理事会にて会員システムの導入に関しての具体的検討を行うことで一致
- 4) 定年退職等で現職にない会員の処遇について
検討必要事項について審議。第3回理事会にて、以下の項目について検討することで全会一致
- ① 会費の設定について:無料とするか、減額の上で徴収するか
- ② 休会制度と併せて検討をすること。定年退職以外の失職についての会員の処遇についても同時に検討
会長より:病気やケガ、妊娠出産子育て等々で現職なくなっている会員については復職の可能性がある。これらについては、休会制度を創設して適用した方が適当である。
- ③ 名称 会長より:名誉会員とは異なる。名誉会員には該当しないが、地道に作業療法士を続けられ定年退職などを迎えた方が、作業療法士業により収入を得られなくなっ

ても会にとどまれるための制度である。

- ④ 年齢及び会員年数による区分の有無:在籍年数を含めて検討する
会長より:今は若年層が多く定年退職会員の問題は実感のないことだが、そのうち年間に数十人規模で会員が定年退職を迎える時代が来る。その方々が会を去って行ってしまう、県士会や作業療法と離れてしまわない体制づくりを今から検討する必要がある。これは組織率にも関係する問題であると考えている。
- 5) 第2回主任者会議に関して
- ① 進捗状況報告:現在60名の参加。準備等は群大で行う
- ② 議案・次第に関して:特別な追加項目等の意見はなかった。提案通り
- ③ 会議冒頭での理事紹介について:出席される理事の方には理事自己紹介、各部紹介を行っていただくことで了承
- 6) ブロック支部別組織強化に関して
- ① 事務局と地域作業療法推進部の連携について活動報告
- ② 8月23日に会議を行い事務局での守備範囲について確認を行った
- ③ 人材不足については、まずは該当部署がご検討いただき、事務局はそのフォローとする
- 7) 運転と作業療法WG
- ① 報告事項 現在、群馬自動車運転リハビリテーション研修会と連動する形で実施
【研修会企画】
2017年8月19日(土) 第3回ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会 研修会
2017年11月17日(金) 第4回ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会 研修会
【協会:運転と作業療法に関する会議】
2017年11月12日(日) 出席予定 年度内に伝達講習をぐんま自動車運転リハビリテーション研究会の研修会で行う予定
2. 学術部(李理事)
- 1) 報告事項
- ① 平成29年度学術支援グループ勉強会を開催した(第1回:7/25、第2回:8/28)
参加者は7名
- ② 第20回群馬県作業療法学会 一般演題の査読を行った。
- ③ 第20回群馬県作業療法学会の実行委員会に参加(第1回:6/13)
- ④ 県学会で作成した書類を事務局へ送付、データ管理を行う。
- ⑤ 県学会での生涯学習ポイントシール管理を開始した。
- 2) 審議・検討事項
【提案事項・審議】機関誌謝礼金規定の改定について
- ① 謝礼金
原稿執筆以外の場合にも対応できるように「謝礼金」と変更
- ② 原稿執筆者および取材協力者支払い対象を原稿執筆者のみでなく取材協力者に拡大
- ③ 400字あたり1,500円 原稿執筆謝礼金を協会の謝礼金規定に準じて変更
- ④ 取材時間1時間あたり12,000円【提案審議】
協会の講師料規定、執筆謝礼金規定
(取材1人あたり2ページ程度を目安として算出)を参考に新規設定

【審議結果】

③について：機関誌としての発行部数や学術誌としてのランクなどを勘案して、依頼原稿については、会員の場合400字あたり750円とし、他職種への依頼の場合1,500円とする。

④について：取材記事に関しては、取材1回あたり、被取材者（インタビュー）が県士会員の場合4,000円を支払うものとし、県士会員外の場合は8,000円とする。そのほかについては提案通り

3. 養成校連絡協議会（李理事）

1) 報告事項

第1回養成校連絡協議会の11月（12月）開催に向けて調整中

（群馬医療福祉大学、太田医療技術専門学校、群馬大学との調整済み）

2) 審議・検討事項：補正予算計上。旅費・交通費：10,000

会議費：20,000 *事務局運営費からの捻出

4. 教育部（柴田理事）

1) 報告事項 研修会開催状況の報告

① 現職者共通研修 4コマ8月20日デイホーム孫の手・いいづか（高崎市）にて

「作業療法の可能性」 山口智晴OTR 参加50名

「日本と世界の作業療法の動向」新井健五OTR 参加50名

「実践のための作業療法研究」李範爽OTR 参加50名

「事例報告と事例研究」李範爽OTR 参加51名

② 現職者共通研修 4コマ9月3日前橋中央公民館501学習室にて

「作業療法における協業・後輩育成」平石武士 参加OTR 41名

「保健・医療・福祉と地域支援」都丸直樹 参加OTR 40名

「職業倫理」石川千春OTR 参加41名

「作業療法生涯教育概論」立澤由美子OTR 参加45名

③ 参加人数について：想定よりも参加人数が多かった。養成校の教員が研修会への参加を促してくれていた様子 →会員自身の意識の問題もあるが養成校の協力の重要性を感じた

④ 生涯教育制度推進委員：研修会情報に関するアンケート依頼は協力可能と返信したが選定されず →厚生労働省からの養成校カリキュラム見直しに関する協力依頼だった様子

2) 審議事項 特になし

5. 地域作業療法推進部

発達支援推進グループ（勝野理事）

1) 報告事項

① 群馬県教育委員会 特別支援学校機能強化専門職派遣事業

② 教育委員会等講師依頼（講師指定・北爪対応）

③ 県教委専門職派遣事業については年間40回予定。研修講師以外OTの指名は極力避けて頂いている

④ 課題：研修講師派遣について、対応できる作業療法士（主催者の納得のいく内容での）育成、*自治体など公的機関からの依頼についての把握が挙げられた

会長より：派遣事業（講師依頼）に関して、北爪グループ長への負担が偏る傾向がある。現状では、北爪グループ長が仮に何らかの事由で対応ができなくなった場合の

対処が、量的にも質的にも困難となることが明確である。早急にバックアップ体制を含め、人材の育成及び講演ツール等の標準化等々の検討が必要だと考える。

2) 協会パイロット事業進捗状況

① HP会計完了。

② リーフレット、HP合わせて562,680円。事業報告と差異はなし

* 確認事項として、HPの管理運営に関する費用について確認が必要（事務局）

次回理事会までに、ご確認いただき、ご報告をお願いすることとなった

3) 発達支援推進グループ勉強会 奇数月第2木曜日に予定（場所：anomira）

4) その他審議事項なし

6. 保険部（勝野理事）

1) 報告事項 これまでの保険部の活動状況についての経緯の説明があった。

① 担当者変更に伴う、引継ぎの問題が指摘された

② HPへの掲載が十分に機能していなかった

2) 検討事項：今後の保険部の活動に関して

① 診療報酬改定の年に研修会開催【提案事項】

計画予定：来年診療報酬の改定があるので、来年度の主任者会議で研修会を開催。

会長より：数年に一度の報酬改定時に研修会を開催することのみでは、部として存在させてまで行う（予算建て組織建てをしてまで行う）活動としては意義が少ないと考える。

平素から、国から出されている制度の改訂に関する審議会情報など、様々な制度・保険に関するアクティブな情報収集及び会員への情報発信をするなど、保険部事業内容を大きく見直すことが必要。実地指導情報の収集や、協会の制度対策部のような渉外的な活動も視野に検討要。

事務局長：保険部の機能としては、会員へのサービスであり、温存しておきたい。事務局で保険情報の集約と情報発信のすべてを担うことは困難。保険情報の取り扱いをやめるのであれば、保険部は解消で

* 次回理事会にて、保険部の事業等について再度協議

7. 地域作業療法推進部・認知症支援推進グループ（高坂理事）

1) 報告事項

① 認知症ケア資質向上のための研修事業に関する進捗状況報告

実施日程：

ベーシック H29年10月21日（土）9:50～16:10

ベーシック H29年10月22日（日）9:50～16:10

会場：吉井文化会館

〒370-2132 高崎市吉井町吉井285 番地2

定員：各200名～300名程度 参加費：無料

② 8月26日 「介護予防に資する人材育成の研修会」を実施した。

③ 10月8日 主任者会議において、地域作業療法推進部の活動報告を行う予定。

2) その他審議事項なし

8. POS連絡協議会に関して追加審議事項（山口副会長）

1) 現在のPOS連絡協議会のOTメンバーと県士会の活動との関連性について

- ① POS連絡協議会への作業療法士の参画については、明確な取り決めはない
 - ② 県士会からの派遣という形を取っていない
 - ③ 個人単位でのつながりの中で、POS連絡協議会に出席しているケースが多い
 - ④ POS連絡協議会では、県士会としての見解を求められるケースがある
 - ⑤ 今後の、POS連絡協議会のメンバーの位置づけについて整理作業が必要か
- 2) POS連絡協議会地域ケア会議(自立支援型ケアマネジメント)への人材派遣について
- ① POS連絡協議会では、市町村レベルでの人員データベースを基に、派遣要請をかける仕組みを10月までに完成させる予定
 - ② OT士会としての関わり方
地域作業療法推進部としては、将来的にはブロック支部長を中心とした、地域ネットワークの中で、依頼一派遣までの一連の仕組みで処理したい
*現時点で、地域作業療法推進部の持っているデータベース、人材の中で対応していくこととする
- 3) 認知症支援グループの口座開設について
現在、認知症支援グループは銀行口座を保有していないが、グループ員の活動費の建て替え金額が多額になっていることや、事業費そのものが多額であることから、認知症支援グループの専用銀行口座を開設していただきたい。
9. 財務部(長谷川事務局長・高橋理事)
- 1) 報告事項
 - ① 財務部部長の後任について:加藤卓也氏を推挙(介護老人保健施設 創春館)
 - ② 部長引き継ぎに関して
前期終了(9月末)後一旦締めて、その際に引継ぎを兼ねて作業を行う予定(10月末)
 - ③ 引き継ぎまでの間は、町田氏が仕事を執り行うこととする
 - ④ 各部署への入金や加藤氏の給与等についても、引き継ぎまでは町田氏が行う
 - ⑤ 2017年度収支決算報告について
新部長の加藤氏がまとめ役を行う。フォローは主幹高橋理事・副担当品田理事
 - ⑥ 今後の会計締めについて
前期及び後期締めでの会計処理結果は理事会で報告とする
各部署会計担当への通達は財務担当理事または財務部長が行う。
 - 2) 財務連絡事項
各担当理事は、所轄部署の会計に十分注意をはらい、各部署の収支には必ず目を通して、最終的に財務へご報告願います。
10. 福利厚生部(市川理事)
- 1) 報告事項
 - ① リレーフォーライフ群馬への参加に関して
30名を超える参加希望あり。順番等は、部長等で検討する。
 - ② 県学会での作業療法士会のオリエンテーション
スライドショーにて各部からの写真などを流す予定。写

- 真等の素材は、これから募集する
- 2) 審議事項
- ① リレーフォーライフ横断幕作成について。金額:9,780円。
補正予算を組んで対処する。*全会一致で承認
 - ② 横断幕のキャッチコピーについて
【生活行為を通じてあなたの「元気」を応援します】
*キャッチコピーについて、補足案があれば、市川理事へメールで連絡する
*最終的には福利厚生部に一任
11. 広報部(都丸理事)
- 1) 報告事項
 - ① 公益事業グループ
* H29.7.24-8.5にかけて高校生作業療法体験を実施。23施設51名
* H29.10.29(日)健康フェスタin前橋2017としてブース出展予定
* こころのふれあいバザー展出店予定
* リレーフォーライフぐんまにてOTグッズ配布予定定
 - ② ニュース編集グループ
* 10月号の準備中。新任役員紹介の記事は9月末までに担当者へ。県士会役員紹介はHPに掲載するか事務局と協議し準備を進める。
* ニュースリニューアルに向けて各部署と連携して進めていく
 - ③ HP管理グループ:HP管理は事務局へ移管HP管理グループ員は広報企画グループへ統合
 - ④ 広報企画グループ:広報企画グループの再編に伴い、役割分担、運営方法についての確認作業を行う予定
 - 2) 審議事項等なし
12. 関根副会長から情報提供
脳梗塞後の漫画家女性に関する情報提供。プロとしての活躍される方で、今後県士会の広報紙等での活用が期待できる
実際に依頼する場合は、金銭的条件も含め検討が必要

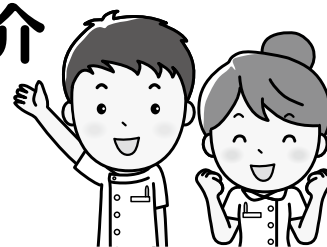
Ⅲ. その他伝達事項

次回理事会

日時:11月22日(水) 18:30集合 19:00開始

場所:県士会事務局 住宅公社ビル3F会議室

2017年 群馬県士会 新・役員紹介



質問項目

- ①氏名 ②現在の所属 ③県士会役職
④担当部局 ⑤OTを志したきっかけ ⑥抱負・一言PR



- ① 李 範爽 (イ ボンソク)
② 群馬大学大学院
保健学研究科
③ 学術部担当理事・養成校
連絡協議会特命担当理事
④ 学術部
⑤ 日本のリハビリテーション

を学びたく1998年来日、1年間日本語学校に通いました。当時「病院と社会をつなぐ」という作業療法の紹介に大きい魅力を感じOTを志すようになりました。

⑥ 百年前の日本の人口は4千万人、100年で3倍に増え、今後100年で元に戻ります。人口の量的膨張と高齢化を背景に成長したOTには、今こそ、人口構造変化に耐える自己変革が求められています。そしてその変革の軸の一つは「自己の存在価値を自ら示すこと」であり、具体的には学術活動であると考えます。学術部では、学会発表・論文執筆を支援する様々な支援活動を行っています。県士会員皆さまのたくさんのご参加・ご入部をお待ちしています。



- ① 高坂 駿 (こうさか しゅん)
② 群馬医療福祉大学
リハビリテーション学部
作業療法専攻
③ 理事
④ 地域作業療法推進部(全体、
地域包括ケア推進グループ、
精神科領域推進グループ)

⑤ 進路選択の際、当時OTSだった方達にOTのことを色々と教えていただいたことが直接的なきっかけでしょうか。「美術」や「技術」(←今はあるのか…)が好きだったこともあり、OTを目指すことにしました。

⑥ はじめまして。今年度から理事職を拝命しました。グンマとロックをこよなく愛する34歳、二児の父親です。不慣れな点もありますが、多くの県民の皆様には作業療法を知っていただけるよう、尽力させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



- ① 唐澤一男
② 中之条町介護老人保健施設
ゆうあい荘
③ 監事
⑤ 当時としてはリハビリテーションということがまだまだ世間に知られていない頃でした。

そんな中で某副院長から背中を押されました

⑥ 要介護4の妻の母を介護しながらの生活に加えて、今年度からは地元の副区長を頼まれたり、統計調査委員は以前からの継続で役職を受けていたりという中で、突然に監事にという話がありました。依頼があった以上は断ることも出来ないのでも承ることにしました。昨年定年を迎え、現在は週2日のパート勤務ですが、先日ご逝去された日野原重明先生のように生涯現役を目標にと思っている昨今です。今後ともどうかよろしくお願いいたします。



- ① 柴田全利
(しばた まさとし)
② 特定医療法人 博仁会
第一病院
リハビリテーション室
③ 理事
日本作業療法士協会

生涯教育制度推進委員

④ 学術局 教育部

⑤ 親戚に勧められたことがきっかけです。

⑥ 教育部で10年以上活動しておりました。教育部のメンバー募集中です。特に東毛ブロックの人材が不足しております。興味のある方は研修会時に声を掛けて下さい。

新入会員紹介

新入会員の皆様が群馬県士会に入会されてから半年が経過し、
そろそろ職場の雰囲気にも慣れてきたことと思います。

今年度も皆様にご協力いただき、自己紹介アンケートを行いました。

新入会員の皆様の今後の御活躍に期待し、同じ県士会の仲間として
皆で県士会を盛り立てていきましょう!!

質問項目

- ①氏名
- ②現在の所属
- ③生年月日
- ④出身地・学校
- ⑤OTになった現在の心境
- ⑥好きな芸能人とその理由
- ⑦今、ハマっている
- ⑧これからの抱負

① 井上美鈴

- ② 脳血管研究所美原記念病院
- ③ H6.6.21
- ④ 群馬 前橋
- ⑤ 脳卒中をメインとしている
病院で働きたかったから
- ⑥ 舞川あいく 顔がタイプ
- ⑦ 美味しいコーヒーと美味しいお酒を飲むこと
- ⑧ よろしくをお願いします。



① 丸山貴大

- ② 脳血管研究所美原記念病院
- ③ H6.9.25
- ④ 長野県
- ⑤ 実習でお世話になり、職員の皆
さん一人ひとりから丁寧に指導
してもらったから
- ⑥ 宮崎あおいさん 昔から雰囲気が好きです!
- ⑦ 買い物(お店巡り)とスポーツ鑑賞
- ⑧ これからは作業療法士の一人として責任感を持ち
精一杯、仕事に励んでいきたいと思います。
よろしくをお願いします。



① 辻脇久実

- ② 脳血管研究所美原記念病院
- ③ H5.5.10
- ④ 群馬県 伊勢崎市
- ⑤ 実習させて頂き、とても働きや
すい職場だと思ったから
- ⑥ さまぁ〜ず ゆるい笑いが好きです。
- ⑦ ダンス
- ⑧ 作業療法士として働き始めて数ヶ月が経ち、少し慣
れてきましたがまだまだ分からないことばかりで、
自分の技術・知識不足を実感しています。
今後は、日々何かを感じたり、患者様の為に全力を
尽くしたいと思います。
これから宜しく願い致します。



① 清水章弘

- ② 脳血管研究所美原記念病院
- ③ H6.12.3
- ④ 群馬県太田市
- ⑤ 研究に興味があり、併せて職場
の雰囲気が良かったから
- ⑥ 満島ひかり かわいい
- ⑦ You Tube
- ⑧ よろしくをお願いします。



① 大塚光

- ② 脳血管研究所美原記念病院
- ③ H4.10.14
- ④ 前橋市
- ⑤ 自宅が近いから
回復期に興味があったから
- ⑥ 出川哲朗 かわいい
- ⑦ とくになし
- ⑧ OTとしてこれから頑張っていきます!



① 飯塚 彩

- ② 公立藤岡総合病院
- ③ 平成3年5月28日
- ④ 群馬県
- ⑤ 同じ出身大学の先輩が働いて
いて、リハビリに専念できる環
境と知ったから。
- ⑥ ひふみん 笑顔が可愛い
- ⑦ 履きやすい靴を探すこと
- ⑧ 頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



次号へつづく

Q&A

執筆者 ● 酒井 麻衣子

〈出身校〉

国際医療福祉大学

〈OT免許取得年数〉12年目

〈現在までの職場履歴〉前橋協立病院

Q1.....

OTになったきっかけは？

A1.....

入院した祖母がリハビリの治療を受けたこと。

Q2.....

今の職場を選んだきっかけは？

A2.....

実習でお世話になり、OTの楽しさを教えて頂いたこと。

Q3.....

今の職場で働いていて良かったと思うことは？

A3.....

尊敬できる先輩・後輩、色々な人たちと出会えたこと。

Q4.....

職場で求められているOTの役割、或いは個人が考えるOTの役割とは？

A4.....

少しでも自分らしくいられるためのお手伝い・調整役。

Q5.....

最近ハマっているもの(こと)は何ですか？

A5.....

子どもの写真を撮ること。

Q6.....

会員の皆さんへメッセージをお願いします。

A6.....

一日一笑で頑張りましょう！

精緻さを力へ。乗り越える、支える力へ。

わたしたちは、常に現場の声に耳を傾け、
患者さんひとりひとりに合った製品をお届けすること
そして、新しい技術に挑戦し続けることを
使命としています。

■ 座骨収納型骨格式大腿義足

■ 把持装具

■ プラスチック短下肢装具

(社)日本義肢協会会員
ISPO会員
日本義肢装具学会会員
バイオメカニズム学会会員
先端医療技術研究会会員
技術研究組合医療福祉機器研究所組合員

取扱い／義肢・装具全般、補助具、車いす

お問い合わせは

株式会社 高崎義肢

〒370 群馬県高崎市井野町1235
☎0273(61)2074(代) FAX 0273(62)6170
振替・長野5-14820

2017年 広報部 高校生作業療法体験 実施報告

榛名荘病院 OT土岐新太

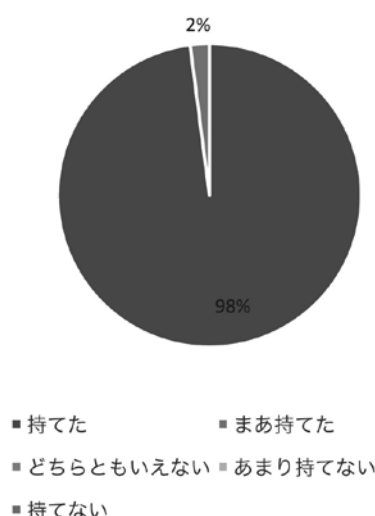
今年度も、高校生作業療法体験事業を実施しました。県内の高校生を対象に、実際のOT場面を見学してもらい、OTに対する興味・関心を高め、進路決定の一参考としてもらうための事業ですが、例年多くの病院、施設等のOTの方にご協力頂き、実施させていただいています。

今年度は県内23施設の方にご協力頂き、県内23高校、49名の高校生が参加しました。高校生のアンケートより、98%の高校生がOTに対して興味を持つことができたという意見がありました。「体の動かせる機能によって使う道具を考えたり、コミュニケーションを取りながら患者様を笑顔にするのはすごい」「一つ一つの動作にも手順や教え方があり、相手の状態に合わせてリハビリ内容もがらりと変わることがわかった。とてもやりがいのある職業だと感じました」等、実際のOT場面を見学してみて、前向きな感想が多く聞かれました。多少高校生による個人差はありますが、OTや医療に関する進路に興味をもっている高校生が参加を申し込んでくれていた影響もあると思います。また、実際のOT場面を見学する事で、80%の高校生がOTに対するイメージが変わったと答えていました。ある程度OTについて話は聞いていたが、実際に見学してみて知識だけでなく、コミュニケーションが大切だと思った等、実際にOTが患者様と関わっている現場を見学する事で得る事のできるものも多かったのではと思います。広報部員の中にも高校生OT体験を経験して、OT養成校に入学し、OTとなったスタッフもいまして、実際のOT場面を見学、体験するという事が、高校生にとっても自分の進路を考える際の大きな経験になるのではと思います。

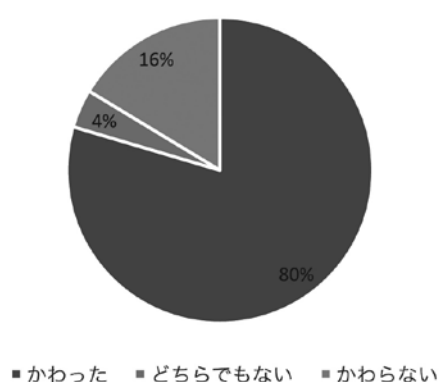
お忙しい中、多くの施設の方にご協力頂いて、この事業を行う事ができました。この場をお借りして改めて感謝いたします。どうもありがとうございました。

〈高校生アンケートより〉

【高校生】OTに対する興味をもてたか？



【高校生】OTに対するイメージが変わったか



施設紹介

利根中央

【病院の概要】

利根沼田地域は、周辺は山に囲まれ、県都前橋市や高崎市など県央に出るためには40kmもあります。そうした状況の中、「日常発生する病気は地元で」という地域住民の強い要望を受け、昭和29年利根中央診療所を開設しました。

往診や、訪問看護にも力をいれており、地域の寝たきり老人や、通院の困難な患者さんへの往診、地域の人達の生活環境や社会的背景をも考慮しています。地域住民は隣近所で班にまとまり、定期的に班会を開いて、血圧測定・検尿・便潜血・食卓診断などに取り組み、健康の自己点検と病気の早期発見に心がけています。

平成27年9月、沼須町に253床（うち回復期リハ33床、HCU12床）の新病院として新築移転で開設、平成28年12月に地域包括ケア病棟を開設しました。関連施設として介護老人保健施設、サービス付き高齢者住宅を有しています。



【リハビリテーション部門】

作業療法士11名・理学療法士34名

言語聴覚士2名・歯科衛生士1名

【作業療法部門の紹介】

一般病棟・回復期リハビリテーション病棟共に家屋訪問を実施し在宅復帰に向けADL室を活用し調理訓練・入浴動作訓練等を行いリハビリテーションを提供しています。

当院は平成29年に日本手外科学会認定の基幹研修施設となりました。主に橈骨遠位端骨折、腱損傷の患者様に対し手外科専門医の協力のもと、手術見学やスプリント作製・勉強会等実施しています。

平成30年より心臓リハビリテーション算定に向け心臓リハビリチーム（医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・医療事務）を結成し入院・外来にてリハビリテーションを行っています。

当院ではより良い医療を提供するため医療スタッフと患者様の信頼と協力、心の通い合いが大切だと思っています。また寝たきりの方や離床意欲の低い方でも目標・きっかけを作り患者様のQOL向上に繋がられるよう作業療法士として日々奮闘しています。



大学院社会人学生募集中



当研究室は、運動生理学手法を用いた上肢機能解析を中心に、身体障害作業療法分野全般の研究を行っています。現在県内外の作業療法士が仕事と研究を両立、修士・博士課程に在籍しています。身障分野の臨床研究に関心のある方は、当研究室で大学院を目指してみたいかがでしょうか。毎週の勉強会は一般公開していますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。

群馬大学大学院 保健学研究科
教授 李範爽
leebumsuk@gunma-u.ac.jp

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した・・・などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス : dc_nanohana@yahoo.co.jp
広報部・ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス
www.gunma-ot.com



編集後記

今年度よりニュースを担当することになり、それに関連して県で活躍されている多くの先輩方と直接顔を合わせ、話をさせて頂く機会が増えた。勤務する病院に同期や話ができる先輩が少ない自分にとって、とても刺激的でありがたい時間を過ごさせて頂いている。多くの先輩方と繋がれることこそ、県士会の醍醐味のひとつではないだろうか。このからっ風通信もそんな醍醐味の一端を担えるような内容にしていけたら良いと思う。 S

群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 中村 真美、関 仁紀、下田 幸、吉澤 一郎 印刷 || 星野印刷株式会社